平成9年度

# 村内遺跡

1 9 9 8

群馬県勢多郡富士見村教育委員会

## 例 言

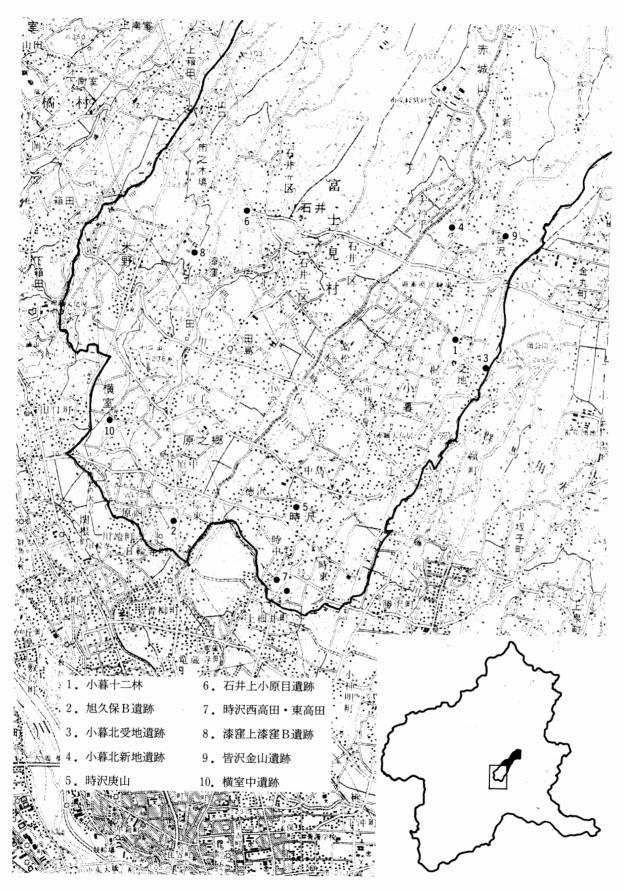
- 1. 本報告書は、平成9年度国庫補助事業として試掘調査を行った村内遺跡発掘調査報告書である。
- 2. 調査体制は、教育長 鈴木清茂 (~4月)、浅井多津男 (4月~)、社会教育課長 品川良治、課長補佐 椛澤幹男、主査 羽鳥政彦 (担当) である。
- 3. 調査に要した経費は、国宝重要文化財保存整備費補助金、群馬県文化財保存事業費補助金、村費があてられた。
- 4. 各遺跡の所在地、調査期間等は本文中に記した。
- 5. 本報告書の編集・執筆等は羽鳥が行った。
- 6. 本発掘調査における記録資料や出土遺物は富士見村教育委員会事務局で保管している。

## 凡例

- 1. 第1図は国土地理院発行1:50000地形図「前橋」を用いた。調査地の地形図は基本的に富士見村役場発行1:2500原形図を1:5000に縮小し用いている。
- 2. 地形図の方位は上が北である。トレンチ配置図の方位は一定していない。
- 3. トレンチ配置図の縮尺は一定していない。

## 目 次

例言	:•凡例
	調査地の位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
1.	小暮十二林
2.	旭久保B遺跡3
3.	小暮北受地遺跡
4.	小暮北新地遺跡
5.	時沢庚山
6.	石井上小原目遺跡(富士見研修団地遺跡第2次)
7.	時沢西高田·東高田······9
8.	漆窪上漆窪 B 遺跡
9.	皆沢金山遺跡11
10.	横室中遺跡
写真	[図版



第1図 調査地の位置

## 1. 小暮十二林



#### 所在地

勢多郡富士見村大字小暮字十二林2476番7·8

#### 調査原因

共同住宅建設

#### 調査期間

平成9年7月8·11日

開発面積

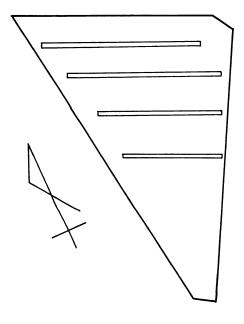
2,408m<sup>2</sup>

調査面積

140m²

#### 調査の経緯

開発予定地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた段階で遺物散布調査を行ったところ、少量の縄文土器・石器が発見されたため、範囲確認調査を行う必要が生じた。



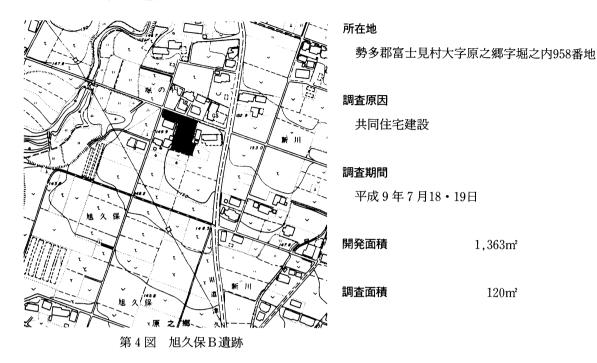
第3図 トレンチ設定図(1:1000)

#### 調査の結果

調査対象地に4本のトレンチを設定し、調査を行った。

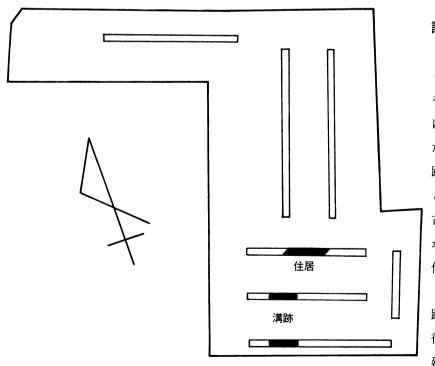
その結果、表土層直下から溝状と土坑状の掘り込みが検出されたが、いずれも、表土と類似する埋土であり、ごく最近の耕作等に伴う掘り込みと思われる。また、全体をローム面まで掘り下げたが、遺構・遺物ともに検出されなかった。これにより、調査対象地は遺跡地ではないと判断された。

## 2. 旭久保B遺跡



#### 調査の経緯

調査地は富士見村の南端に位置する。平成7・8年度に発掘調査を行った旭久保遺跡の一部である可能性があったため、範囲確認のための試掘調査を行った。



第5図 トレンチ設定図(1:500)

#### 調査の結果

開発予定地の形状に合わせ、 6本のトレンチを設定し、調査 を行った。その結果、北半部で は遺構・遺物が検出されなかっ たが、南半部からは、旭久保遺 跡で検出された溝跡(道路跡) と関連すると思われる溝跡と、 古墳時代と思われる竪穴住居跡 が1軒検出され、また、縄文時 代中期の土器破片も出土した。

この結果を受け、事業者と遺跡の保護措置について協議を行った結果、遺構が検出された建物予定地を中心に発掘調査を行うことで合意した。

## 3. 小暮北受地遺跡



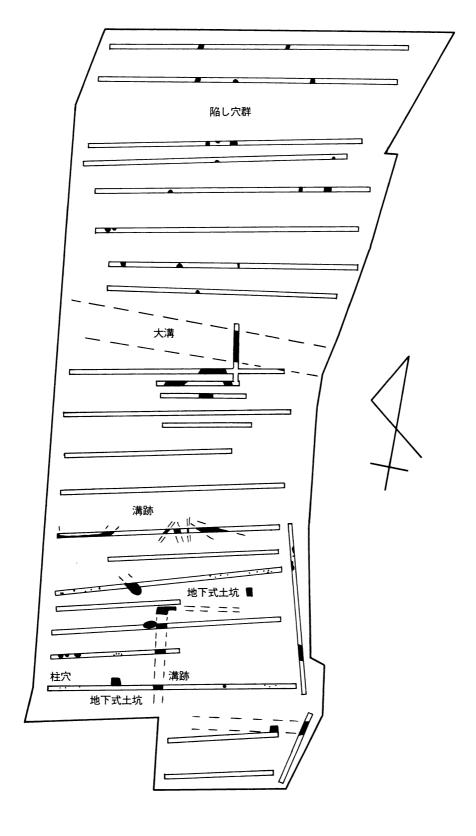
#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画を把握した時点で遺物散布調査を行ったところ、若干ではあるが、縄文時代の土器・石器、土師器、陶磁器が発見されたため、範囲確認調査が必要となった。

#### 調査の結果

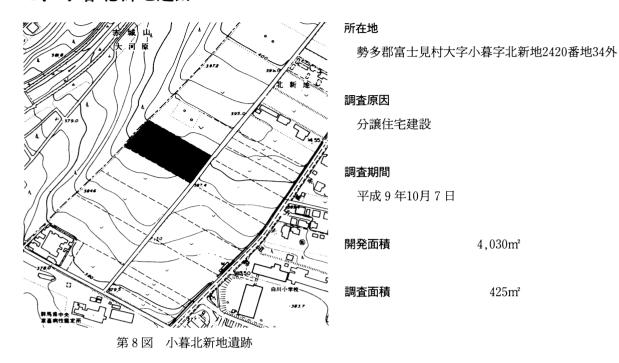
開発予定地の地形に合わせ、主に東西方向にトレンチを設定して調査を行った。その結果、墓地造成予定地である北側部分で、ほとんどのトレンチから縄文時代と思われる陥し穴が検出された。寺院建設予定地である中央部分からは、台地を分断する上幅約8mの大溝と古墳の周堀と思われる溝跡が検出された。駐車場造成予定地である南側部分からは多数の溝跡、土坑、地下式土坑、柱穴が検出された。また、東端に南北に設定したトレンチ北端からは、天目茶碗と灰釉香炉がほぼ完形で出土している。これらは、戦国時代頃の城館跡に伴う遺構群・遺物と思われた。また、南側部分からは縄文時代の陥し穴も検出されており、台地全体に陥し穴が展開する可能性も推測された。

試掘調査の結果を元に事業者と協議を行った結果、墓地造成予定地及び寺院建設予定地の遺構が検出された部分は全面発掘を行い記録保存とすること、駐車場予定地は基本的に盛土保存とするが、現状で埋没していない地下式土坑2基と、墓坑と推定される茶碗・香炉が出土した地点周辺は発掘調査を行い記録保存とすることで合意した。



第7図 トレンチ設定図 (1:1000)

## 4. 小暮北新地遺跡



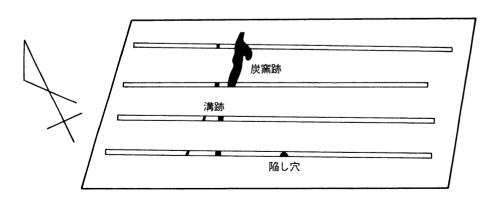
#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、群馬県畜産試験場内に所在する小暮西新山遺跡、小暮東新地遺跡に 近接するため試掘調査を行った。

#### 調査の結果

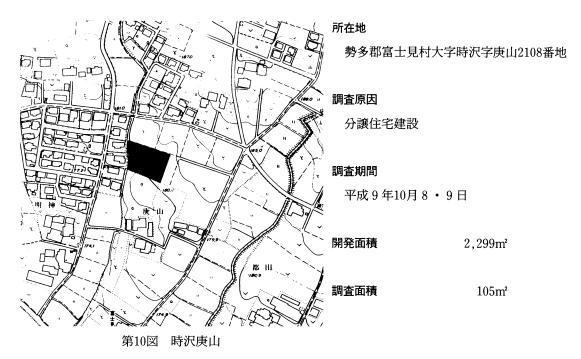
開発予定地の形状と地形に合わせて東西方向に4本のトレンチを設定し調査を行った。この結果、台地を 縦断する溝跡、道路跡各1条と平安時代と推定される炭窯跡1基が検出された。また、部分的にローム面ま で掘削を行ったところ、縄文時代と推定される陥し穴も検出された。

この結果を基に、事業者と保存について協議した結果、工事計画の変更が不可能で、遺跡の削平が免れないため、遺構検出部分の発掘を行うことで合意した。



第9図 トレンチ設定図 (1:1000)

## 5. 時沢庚山



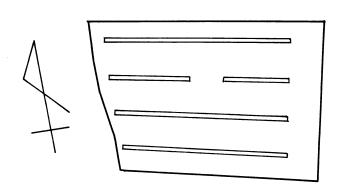
#### 調査の経緯

調査地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画が把握できた時点で遺物散布調査を行ったところ、江戸時代と推定される陶磁器が発見されたため、試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査地の形状・地形に合わせて5本のトレンチを設定し、調査を行った。

各トレンチともローム面下までの掘削を行ったが、調査区域内からは遺構・遺物が全く検出されず、遺跡 地ではないと判断された。



第11図 トレンチ設定図 (1:1000)

## 6. 石井上小原目遺跡(富士見研修団地遺跡第2次)



第12図 石井上小原目遺跡(富士見研修団地遺跡第2次)

#### 所在地

勢多郡富士見村大字石井字上小原目1349番地 1 外

#### 調査原因

研修団地造成

#### 調査期間

平成9年10月13日~16日

開発面積 3,500m²

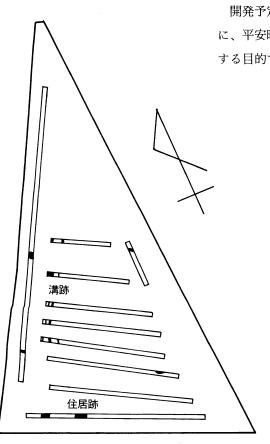
調査面積 340m²

#### 調査の経緯

開発予定地の南側には、富士見研修団地第1次発掘調査の際に、平安時代の集落が検出されていたため、遺跡の範囲を確認する目的で、試掘調査を行った。

#### 調査の結果

調査予定地の形状・地形に合わせて主に東西方向にトレンチを設定し調査を行った。その結果、南端部において、20~30cmの表土層の直下から、南側の平安時代集落に関連すると思われる竪穴住居跡、及び時期不明の炭窯跡を検出した。また対象地を縦断・横断する複数の溝跡を検出した。この結果に基ずき、協議を行った結果、開発予定地のほぼ全面の発掘を行うことで合意した。



第13図 トレンチ設定図(1:1000)

### 7. 時沢西高田・東高田



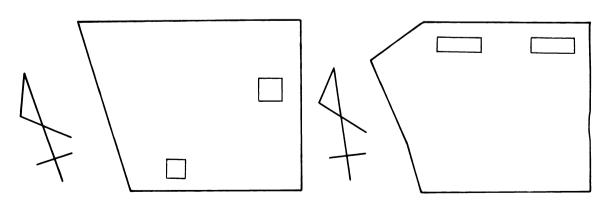
#### 調査の経緯

東高田については、東側に中屋敷遺跡が近接しており、また、地形的に水田跡の可能性もあるため、調査を行った。西高田については、地形的に河川に面した台地上であり、周辺に少量の遺物が散布していたため 調査を行った。

#### 調査の結果

東高田では表土層下に鉄錆を含む水田耕作土等も認められたが、明瞭な畦畔や軽石の堆積が認められなかった。但し、遺物が数点出土しており中屋敷遺跡等からの流れ込みと思われる。

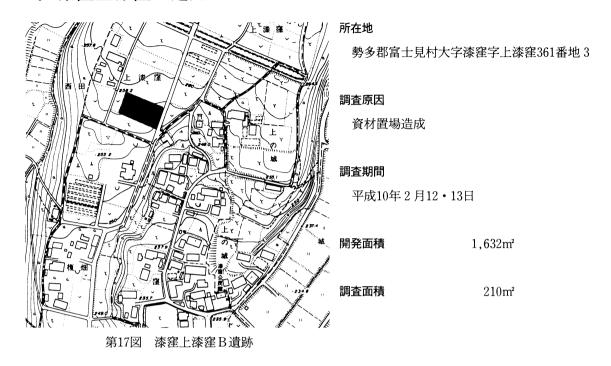
西高田では土師器の小破片が1点出土しただけで、明瞭な遺構は検出されなかった。



第15図 トレンチ設定図(西高田)(1:250)

第16図 トレンチ設定図 (東高田) (1:250)

## 8. 漆窪上漆窪B遺跡

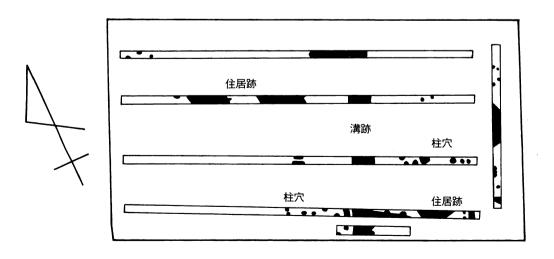


#### 調査の経緯

開発予定地は過年度に調査を行った上漆窪遺跡に南接しており、その一部である可能性が高いため、範囲 確認のための試掘調査を実施した。

#### 調査の結果

調査地のほぼ全面から奈良〜平安時代と思われる竪穴住居跡、掘立柱建物跡、中近世の溝跡等が検出された。遺跡の保護措置については現在協議中である。



第18図 トレンチ設定図(1:500)

## 9. 皆沢金山遺跡



#### 所在地

勢多郡富士見村大字皆沢字金山268番地2外

#### 調査原因

一般住宅及び焼物窯建設

#### 調査期間

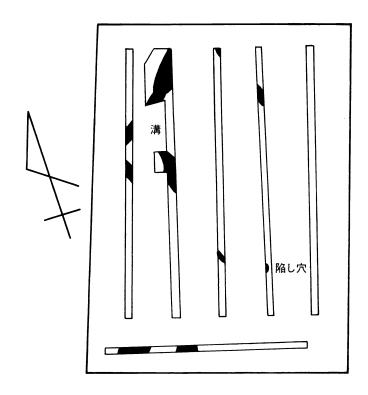
平成10年 2 月17·18日

開発面積 1,584m²

調査面積 160 m²

#### 調査の経緯

開発予定地は周知の遺跡ではなかったが、開発計画を把握した段階で遺物散布調査を行ったところ、少量ではあるが遺物を発見したため、試掘調査を行った。



第20図 トレンチ設定図 (1:500)

#### 調査の結果

調査地の形状に合わせ、主に南北方向 にトレンチを設定し、調査を行った。そ の結果、対象地の西半部から平安時代と 思われる溝(道路)跡が数条検出された。 また東半部でローム面までの掘削を行っ たところ、縄文時代と思われる陥し穴が 数基検出され、遺跡であることが確認さ れた。

遺跡の保護措置については、現在協議 中である。

## 10. 横室中遺跡



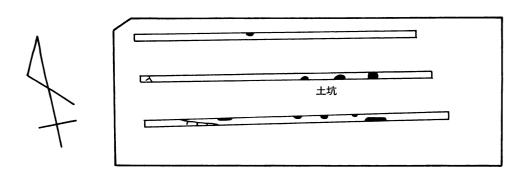
#### 調査の経緯

開発予定地は周知の遺跡ではなかったが、埋蔵文化財包蔵地である横室字薊に南接しており、また開発計画が把握できた段階で遺物散布調査を行ったところ、縄文土器を発見したため試掘調査の必要が生じた。

#### 調査の結果

開発予定地の形状・地形に合わせて3本のトレンチを設定し、調査を行った。その結果、40~60cmの表土 層直下から時期不明の土坑群を検出した。また、その20~30cm下層に縄文時代中期の遺物包含層も検出された。

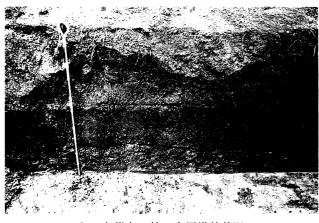
遺跡の保護措置については、現在協議中である。



第22図 トレンチ設定図



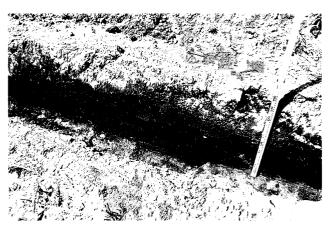
1. 小暮十二林 トレンチ掘削状況



2. 小暮十二林 土層堆積状況



3. 旭久保B遺跡 トレンチ掘削状況



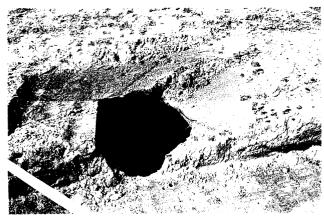
4. 旭久保B遺跡 溝跡(道路跡)検出状況



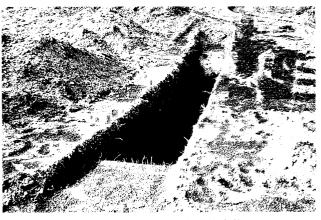
5. 小暮北受地遺跡 トレンチ掘削状況



6. 小暮北受地遺跡 陥し穴検出状況



7. 小暮北受地遺跡 地下式土坑検出状況



8. 小暮北受地遺跡 大溝検出状況



1. 小暮北新地遺跡 トレンチ掘削状況



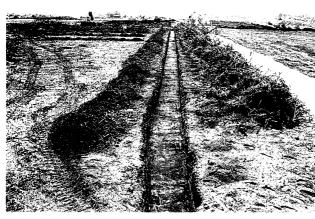
2. 小暮北新地遺跡 炭窯跡検出状況



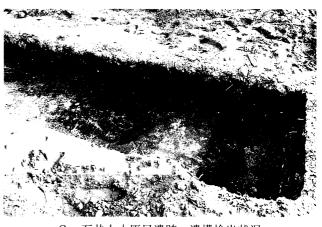
3. 時沢庚山 トレンチ掘削状況



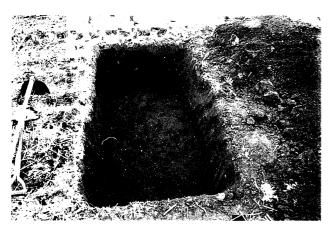
4. 時沢庚山 土層堆積状況



5. 石井上小原目遺跡 トレンチ掘削状況



6. 石井上小原目遺跡 遺構検出状況



7. 時沢東高田 トレンチ掘削状況



8. 時沢西高田 土層堆積状況



1. 漆窪上漆窪B遺跡 トレンチ掘削状況



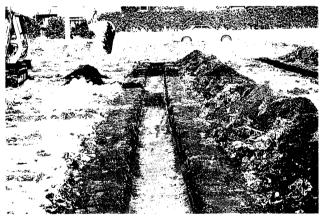
2. 漆窪上漆窪B遺跡 トレンチ掘削状況



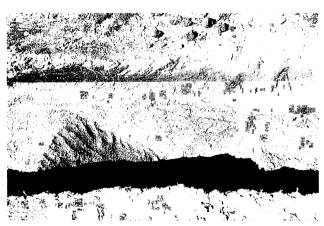
3. 漆窪上漆窪B遺跡 遺構検出状況



4. 漆窪上漆窪B遺跡 作業風景



5. 皆沢金山遺跡 トレンチ掘削状況



6. 皆沢金山遺跡 溝跡検出状況



7. 横室中遺跡 トレンチ掘削状況



8. 横室中遺跡 土層堆積状況

## 平成 9 年度 村 内 遺 跡

平成10年3月24日印刷 平成10年3月31日発行

編集·発行/群馬県勢多郡富士見村教育委員会 群馬県勢多郡富士見村大字田島866-1 電話(027) 288-6111

印刷/朝日印刷工業株式会社